

Q19：治療用途は？

A19：以下事例において評価いただいています。

1. 診療前のうがい
2. 歯周病対策
3. 抜歯後の洗浄
4. 根管洗浄

※) 医師のご判断と患者へのインフォームドコンセントのもとご使用いただいています。

Q20：歯周病対策としては？

A20：スケーリング時の注水にご使用いただいています。除菌効果はもとより、止血・口臭抑制効果が期待できる点も評価いただいています。詳細は文献をご確認ください。(スケーラー内にAP水を通される場合、腐食予防の為、1日の終わりにスケーラー内に水道水を通していただくようお願いします)患者さんにペットボトルで持ち帰っていただき、ブラッシング後の洗口にもご活用いただいています。

Q21：抜歯後の洗浄としては？

A21：作用機序は調査中ですが「止血効果」に関する文献があります。また患部を安全に清潔にできる点も評価いただいています。

Q22：根管洗浄としては？

A22：AP水には有機物溶解作用はございませんのでスメア層の除去については従来の次亜塩素酸ナトリウム水溶液の方が効果的です。但し洗浄時にご使用いただくことで患部を安全に清潔にできる点を評価いただいています。

Q23：安全性に関するデータは？

A23：公的機関にて「急性経口毒性試験」「累積皮膚刺激性試験」等のデータを取得しています。詳細は前出のデータをご確認ください。

Q24：使用するメリットは？

A24：以下について評価いただいています。

1. 院内感染予防システムのレベルアップ(全ての患者を感染症とみなした対応が期待できる)
2. 薬剤にかかるコストを低減できる
3. スタッフの負担を軽減できる
4. 臨床に應用して経過が良好
5. 患者へのPR効果が期待できる

Q25：チェアー内の給水には使用できるの？

A25：現状では「部品劣化」「薬事未承認のAP水を通水することは認められていない」ことから、使用者の責任においてご使用いただける場合のみ対応させていただいています。また常時通水以外では、チェアー内の管路洗浄を目的としてご使用していただいている事例もあります。

以上